愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	地域福祉論		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

地域福祉とは、生活権を行使する地域住民の生活問題の解決や社会環境の福祉化に向けて、地域を基盤にサービスや活動を組み立てていく過程であり、また、その過程を保障する仕組みを構築、運営するシステムであるといえる。そのような地域福祉の考え方や実践はどのように形成され、広がってきたのか、史的展開をたどりながら検討する。また、地域福祉を構成する諸要素の内容、近年の地域共生社会づくり、またそれを実現するための重層的支援体制整備などの全国各地の実践事例の検討などを通じて把握する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義を中心とするが、授業の内容に応じて、ディスカッションやグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	地域社会の概念と理論①	地域社会の概念について学ぶ（地域と地域社会、地域社会と地域福祉活動、地域社会とコミュニティ、地域性と共同性）	□
第2回	地域社会の概念と理論②	地域社会の理論について主にコミュニティ政策について学ぶ	□
第3回	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題①	社会的環境としての地域社会の変化による課題について学ぶ	□
第4回	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題②	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ、社会的孤立や社会的排除について学ぶ	□
第5回	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制①	地域包括ケアシステムの考え方と展開について、また相談支援体制について学ぶ	□
第6回	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制②	生活困窮者自立支援の考え方について学ぶ（自立相談支援事業、包括的な相談支援体制と伴走型支援など）	□
第7回	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制③	包括的支援体制の考え方や展開について学ぶ	□
第8回	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望	参加と協働、エンパワメント、アドボカシー、福祉教育等の地域福祉の主体と形成について学ぶ	□
第9回	地域共生社会の実現に向けた多機関協働①	地域福祉ガバナンスを進めるための協議の場の必要性と求められる専門職としての役割について学ぶ	□
第10回	地域共生社会の実現に向けた多機関協働②	多職種連携（保健・医療・福祉に関わる多職種連携、多職種連携における個人情報保護）、福祉以外の分野との機関協働の実際について学ぶ	□
第11回	地域福祉の基本的な考え方①	地域福祉の概念と理論化をめぐる変遷（福祉コミュニティ論、在宅福祉サービス論、市民活動論、ボランティア、共生社会など）について学ぶ	□
第12回	地域福祉の基本的な考え方②	コミュニティオーガニゼーションなど、地域福祉の方法論の歴史について学ぶ	□
第13回	地域福祉の基本的な考え方③	地域共生社会など、地域福祉の近年の動向について学ぶ	□
第14回	地域福祉の基本的な考え方④	地域福祉の推進主体について、主として地域社会の住民中心の活動推進について学ぶ	□
第15回	地域福祉の基本的な考え方⑤	地域福祉の主体と福祉教育について学び、授業全体のまとめを行う	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の授業の課題テーマに関して、配布資料を参考に、書籍、メディアやインターネットなどで調べ学習を行い、情報を収集し、関連する知識を得ておく（2時間）。各回の授業後、課題テーマに対する意見共有・ふりかえりを踏まえて、自分自身の意見・見解をまとめておく（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業の課題テーマに関する意見発表・全体での共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行う。次週の授業において、次のテーマへの関連する視点やポイントについて提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◇ 2019人間健康DP2	地域社会・コミュニティに関する理解を踏まえて、地域福祉の理念、方法論、実践事例の視点などにおける問題意識を持ち解決方法を探求できる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	地域社会・コミュニティにおける住民、公民関係機関、事業者の多様な価値観を共有し、ネットワークを形成し、自発的に人々と協働して地域貢献ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各授業回ごとに、Teams上に、授業内課題、小テスト、および記述式課題を掲載するので、授業翌週回までに提出すること。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	西尾敦史、横浜市社会福祉協議会（2017）『横浜発 助けあいの心がつむぐまちづくり:地域福祉を拓いてきた5人の女性の物語』ミネルヴァ書房	978-4623078523
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	宮本 太郎 （2017）『共生保障 〈支え合い〉の戦略〉岩波新書	978-4004316398
2	鳥越 皓之（2008）『「サザエさん」的コミュニティの法則』生活人新書	978-4140882467
3	仁平 典宏（2011）『「ボランティア」の誕生と終焉―〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』名古屋大学出版会	978-4815806637
4	小野 達也 , 朝倉美江ほか（2022）『増進型地域福祉への展開 幸福を生みだす福祉をつくる』 同時代社	978-4886839305
5	ロバート・D. パットナム （2006）『孤独なボウリング: 米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房	978-4760129034